

# 非常運転

液晶表示部に「○○異常」と表示され、警告ブザーがピ、ピ、ピッと鳴り、作業機が作動しなくなったとき、本機を安全な場所に移動する場合に使用します。

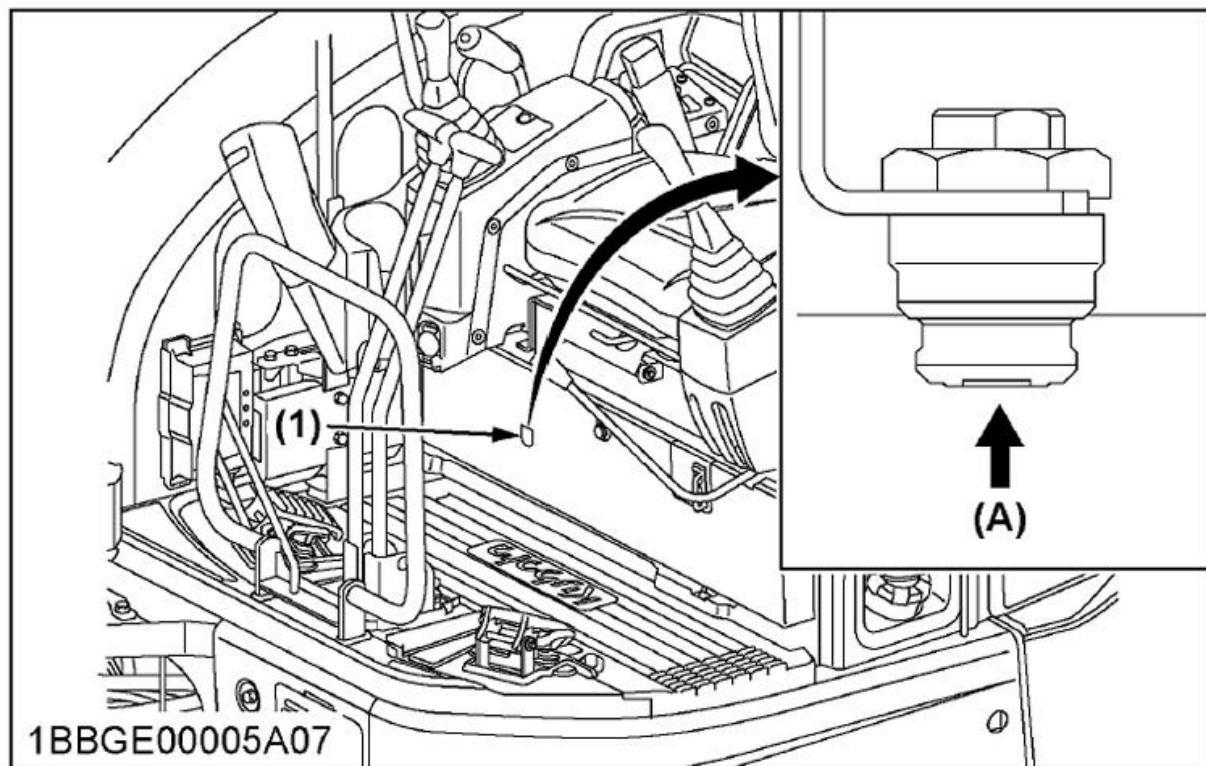


## 警告

- 非常時以外はいつも通常運転で使用してください。
- 非常運転にすると、干渉回避制御は効かず、作業機がブームシリンダと接触して危険です。またブーム、アームのシリンダエンドクッションが効きませんので、レバー操作にはじゅうぶん注意してください。

- 安全な場所へ移動した後は必ず通常運転に戻し、速やかに認定工場にご相談ください。(キーを[STOP]にすると通常運転になります。)

非常スイッチは座席下カバーの右側にあります。



(1) 非常スイッチ

(A) 押す

# 1. 非常運転モードの起動方法

## 警告

- 液晶表示部に“CAN 通信異常”の“CAN システム（メイン）”または“CAN システム（JS）”が表示されているときは、非常運転モードにしても非常運転時の警告ブザーは鳴りません。  
また、ECU（JS）が故障しているときは、非常運転モードにしても操作できません。
- 液晶表示部に“JS システム異常”の“4P マルチ”が表示されているときは、非常運転モードの操作パターンは JIS パターンに固定されます。  
（詳細はガイダンス画面一覧（143 ページ）を参照）

- 非常スイッチを押したままエンジンを始動します。
- エンジン始動後、非常スイッチから手を離すと非常運転になります。
- キーを**[STOP]**にすると、自動的に通常運転になります。

### 補足：

- オートアイドル機能は非常運転時でも影響ありません。
- 非常運転モード中は警告ブザーが鳴ります。